

2023年度 天使大学卒業生に関する就職先アンケート集計結果 【栄養学科】

■調査対象・期間

調査対象：栄養学科2021年度卒業生の就職先

調査期間：2023年5月1日～2023年5月31日

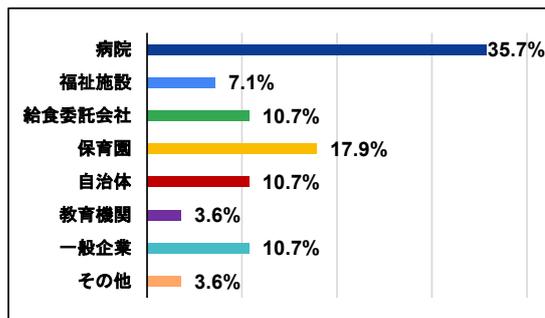
■送付・回答数

学科	送付数	回答数	回答回収率
栄養学科	63	28	44.4%

■回答集計結果

質問1 貴施設の業種をご回答ください。

病院	10	35.7%
福祉施設	2	7.1%
給食委託会社	3	10.7%
保育園	5	17.9%
自治体	3	10.7%
教育機関	1	3.6%
一般企業	3	10.7%
その他	1	3.6%
計	28	100.0%

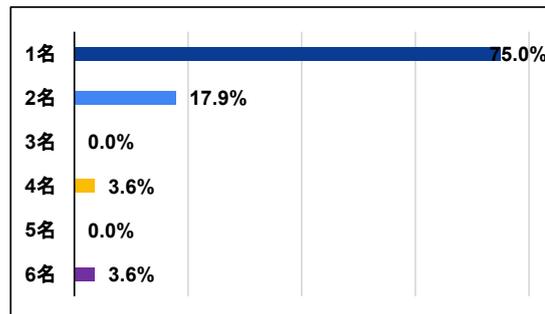


質問2 質問1で「その他」を選択された方、業種をご回答ください。

協同組合

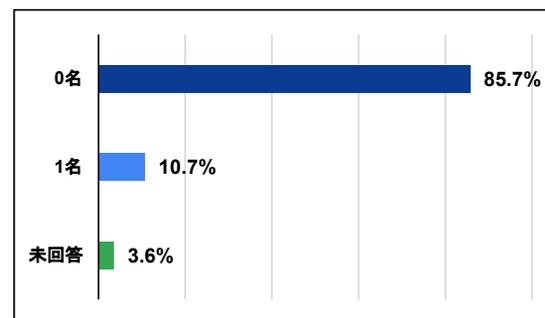
質問3 2021年度卒業生（2022年4月1日入職）における貴施設への、天使大学卒業生の就職者数をご回答ください。

1名	21	75.0%
2名	5	17.9%
3名	0	0.0%
4名	1	3.6%
5名	0	0.0%
6名	1	3.6%
計	28	100.0%



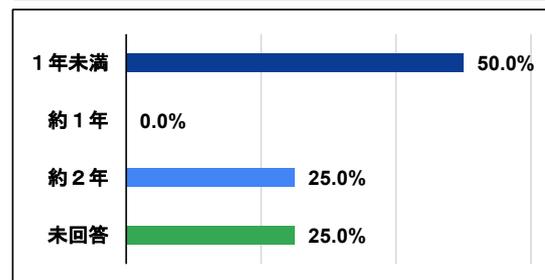
質問4 質問1の就職者のうち、離職者数をご回答ください。

0名	24	85.7%
1名	3	10.7%
未回答	1	3.6%
計	28	96.4%



質問5 質問2で、離職者数をご記入された方、離職者の勤務年数をご回答ください。（複数回答可）

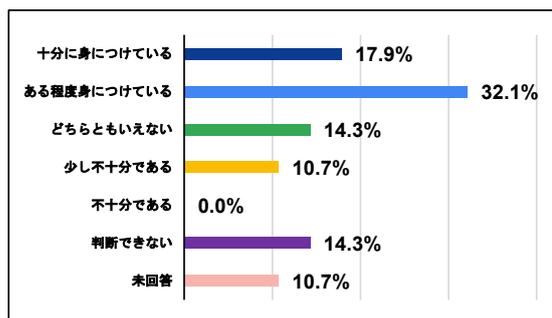
1年未満	2	50.0%
約1年	0	0.0%
約2年	1	25.0%
未回答	1	25.0%
計	4	75.0%



質問6 天使大学の卒業生に身に付けてほしい能力が卒業後に身につけているかをお尋ねします。貴施設に就職している卒業生の能力の到達度について、あてはまる項目の一つを選んでください。卒業年度が異なる卒業生が複数名在籍している場合も、入職時の状況についてご回答ください。

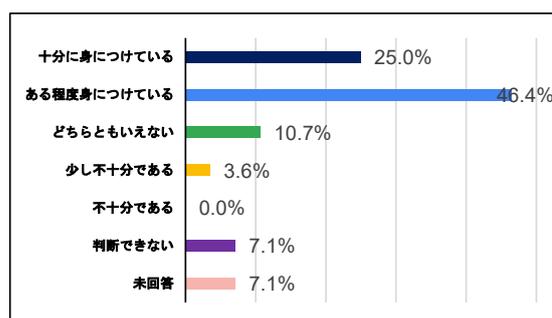
1. 管理栄養士に必要な専門的知識と技術を修得している

十分に身につけている	5	17.9%
ある程度身につけている	9	32.1%
どちらともいえない	4	14.3%
少し不十分である	3	10.7%
不十分である	0	0.0%
判断できない	4	14.3%
未回答	3	10.7%
計	28	100.0%



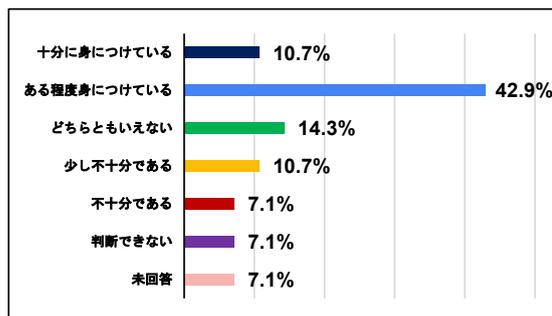
2. 援助を必要とする人に愛情をもって接することができる

十分に身につけている	7	25.0%
ある程度身につけている	13	46.4%
どちらともいえない	3	10.7%
少し不十分である	1	3.6%
不十分である	0	0.0%
判断できない	2	7.1%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



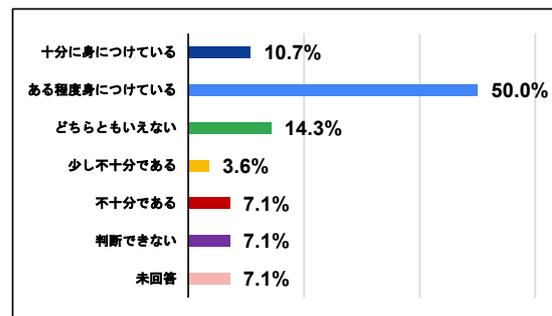
3. 社会システムを理解している

十分に身につけている	3	10.7%
ある程度身につけている	12	42.9%
どちらともいえない	4	14.3%
少し不十分である	3	10.7%
不十分である	2	7.1%
判断できない	2	7.1%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



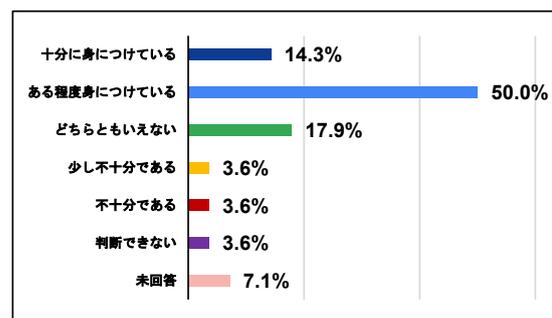
4. 社会の変化に柔軟に対応できる

十分に身につけている	3	10.7%
ある程度身につけている	14	50.0%
どちらともいえない	4	14.3%
少し不十分である	1	3.6%
不十分である	2	7.1%
判断できない	2	7.1%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



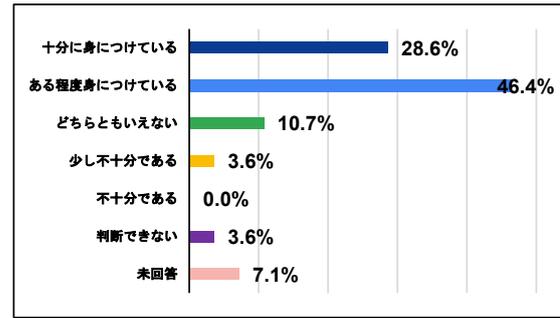
5. 自ら律することができる

十分に身につけている	4	14.3%
ある程度身につけている	14	50.0%
どちらともいえない	5	17.9%
少し不十分である	1	3.6%
不十分である	1	3.6%
判断できない	1	3.6%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



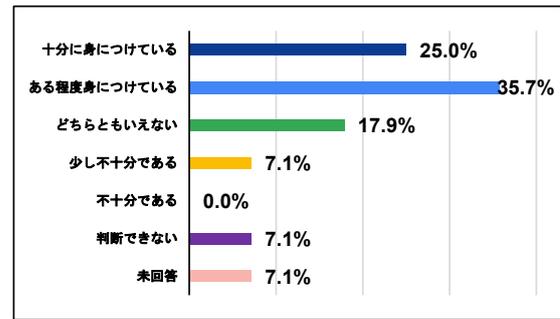
6. 他者と協力できる

十分に身につけている	8	28.6%
ある程度身につけている	13	46.4%
どちらともいえない	3	10.7%
少し不十分である	1	3.6%
不十分である	0	0.0%
判断できない	1	3.6%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



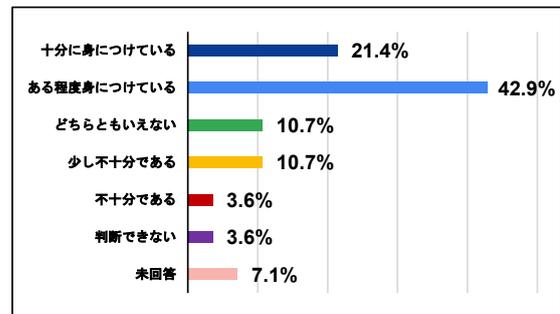
7. 倫理的配慮ができる

十分に身につけている	7	25.0%
ある程度身につけている	10	35.7%
どちらともいえない	5	17.9%
少し不十分である	2	7.1%
不十分である	0	0.0%
判断できない	2	7.1%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



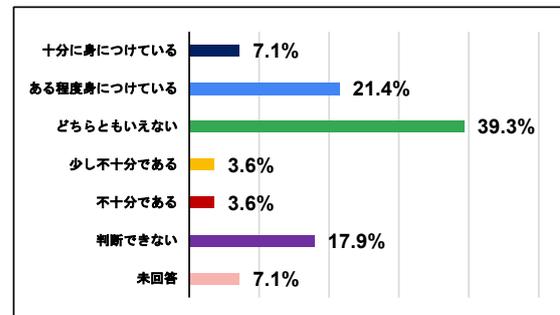
8. 責任ある行動がとれる

十分に身につけている	6	21.4%
ある程度身につけている	12	42.9%
どちらともいえない	3	10.7%
少し不十分である	3	10.7%
不十分である	1	3.6%
判断できない	1	3.6%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



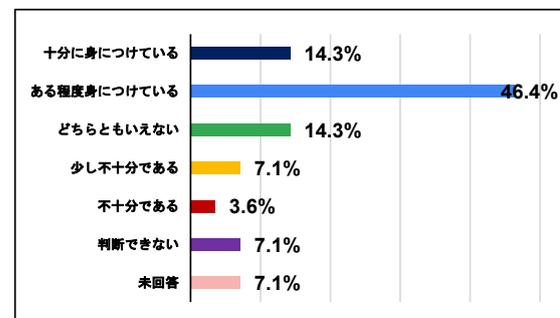
9. 国際的な視野を持っている

十分に身につけている	2	7.1%
ある程度身につけている	6	21.4%
どちらともいえない	11	39.3%
少し不十分である	1	3.6%
不十分である	1	3.6%
判断できない	5	17.9%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



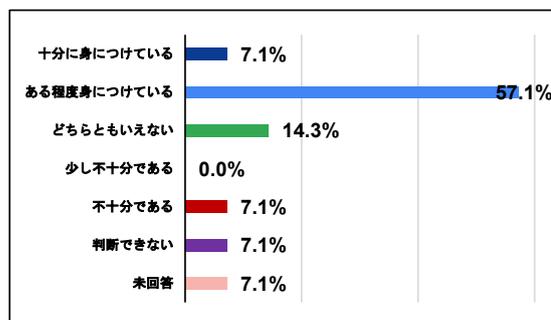
10. 多様な人々や環境について理解できる

十分に身につけている	4	14.3%
ある程度身につけている	13	46.4%
どちらともいえない	4	14.3%
少し不十分である	2	7.1%
不十分である	1	3.6%
判断できない	2	7.1%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



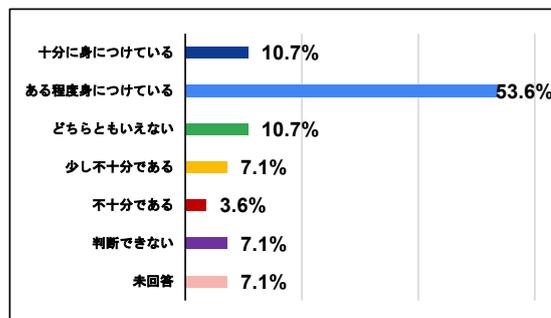
11. 自らの課題を見つけることができる

十分に身につけている	2	7.1%
ある程度身につけている	16	57.1%
どちらともいえない	4	14.3%
少し不十分である	0	0.0%
不十分である	2	7.1%
判断できない	2	7.1%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



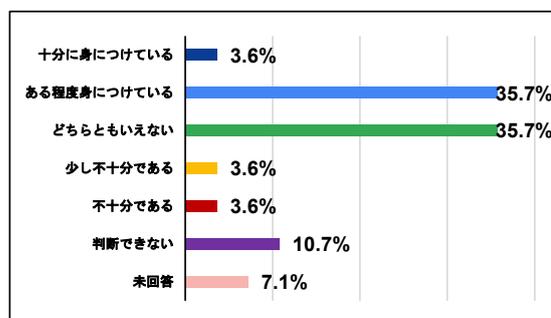
12. 目標を立てて取り組むことができる

十分に身につけている	3	10.7%
ある程度身につけている	15	53.6%
どちらともいえない	3	10.7%
少し不十分である	2	7.1%
不十分である	1	3.6%
判断できない	2	7.1%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



13. 科学的視点を持って理解することができる

十分に身につけている	1	3.6%
ある程度身につけている	10	35.7%
どちらともいえない	10	35.7%
少し不十分である	1	3.6%
不十分である	1	3.6%
判断できない	3	10.7%
未回答	2	7.1%
計	28	100.0%



質問7 天使大学での教育を通して、卒業までに身に付けてほしい能力等がありましたらご記入ください。
(自由記述)

- ・コミュニケーション能力、協調性、柔軟性
- ・人を総合的に観察する経験と能力
- ・チームワーク能力、自己管理能力
- ・対人コミュニケーション能力、厨房内作業の知識と実践
- ・病態栄養の基礎、栄養管理の基礎として給食管理能力が必須であるという思考
- ・乳幼児施設に就職希望の際、0~6歳（就学前）までの基本的な発達段階の理解
- ・現在の乳幼児の発育やそれに伴う食生活の実態、食育への創意工夫
- ・現代社会の実態の把握、臨機応変に対応できる能力、考えていくことが出来る力
- ・寄り添い汲み取る力、相手の立場に立って物事の是非を考える力
- ・「やさしい心」、「やわらかな頭」、「コミュニケーション力」、「フットワークの良さ」、「熱い思い」
- ・メンタルヘルスケアについて、自身で対応できる方法、生活する上でのアドバイス等
- ・社会人としての自覚、栄養士としてのプロ意識、道外で就職する場合の覚悟
- ・多職種とのかかわり、患者さんとのかかわりに対し柔軟に対応できる、会話できること

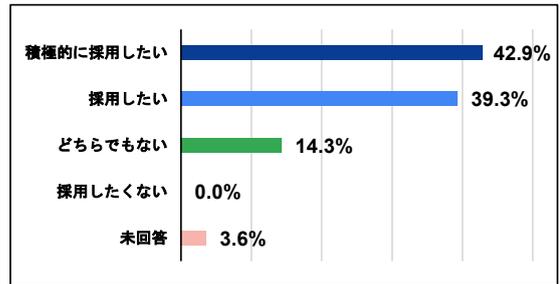
質問8 天使大学の卒業生が優れていると思うものがあればご記入ください。(自由記述)

- ・ホスピタリティ(他者を思いやり行動する力)
- ・努力する力、謙虚な姿勢
- ・対人コミュニケーション能力
- ・病態について理解を深めることに懸命に取り組む姿勢
- ・明朗快活、自身の目標に向かって進む姿勢、改善していこうとする力
- ・食育に対していろいろ工夫し取り組んでいる
- ・社会人としての礼儀作法、言葉づかいなどしっかり身につけている

- ・性格にもよるがスピーディーでテキパキと動ける印象
- ・責任をもって仕事についている
- ・歴史がある大学であり、カトリックの精神を受け継いでいるため、周囲への配慮も十分に出来ている

質問9 天使大学の卒業生を今後も採用したいですか。

積極的に採用したい	12	42.9%
採用したい	11	39.3%
どちらでもない	4	14.3%
採用したくない	0	0.0%
未回答	1	3.6%
計	28	100.0%



質問10 質問9で「採用したくない」と回答された方、理由があればお書きください。（自由記述）

—

質問11 その他、天使大学の教育についてお気づきの点がございましたらご記入ください。（自由記述）

- ・愛をとおして真理への理念が素晴らしい。
- ・人によりますが、自分の考えを持たず上司に答えを求め、それだけ取り組めばOKという人材が増えてきた。より良い職場のため教育の一環として取り組んでいただきたい。